

【NEWS RELEASE】

2025 年 9 月 5 日

各 位

株式会社三井住友銀行

電力の地産地消を目的としたバイオマス発電由来の再生可能エネルギー導入について

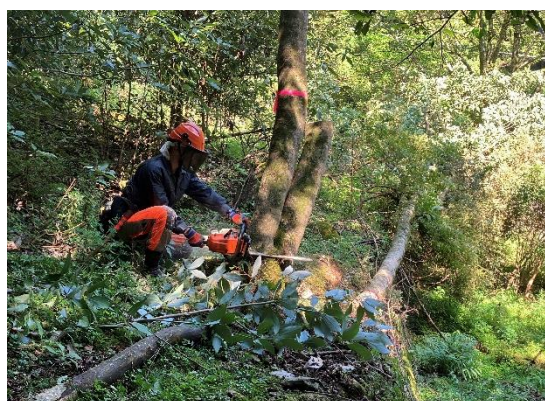
株式会社三井住友銀行（頭取CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、脱炭素の取組の一環として、電力の地産地消を目的としたバイオマス発電（※1）由来による再生可能エネルギーを、三井住友銀行の一部営業拠点へ導入したことをお知らせいたします。

なお、電力の地産地消を目的としたバイオマス発電由来の再生可能エネルギーの導入は、メガバンク初の取組となり、また、三井住友銀行では太陽光発電、水力発電、地熱発電に続く再生可能エネルギーの導入となります。

本取組では、三井住友銀行が2024年5月にネイチャーポジティブ・脱炭素社会他の実現を目的に取得した「SMBCの森」（神奈川県伊勢原市）で適切な森林管理のために伐採された間伐材を、横須賀バイオマス発電所（※2）において木質バイオマス発電の燃料として活用しました。

また、神奈川県内にある三井住友銀行の一部営業拠点で使用する電力の全てを、横須賀バイオマス発電所由来の再生可能エネルギー電力とすることで、発電燃料の調達から発電、電力使用までを神奈川県内で行う「電力の地産地消」のスキームを実現しました。

三井住友銀行では、本件を通じて地域における循環型社会の実現や脱炭素社会への移行と実現に向け、積極的に貢献してまいります。



間伐作業



発電所への持込状況

※1：バイオマス発電

木材や動植物などの生物資源（バイオマス）をエネルギー源として発電するシステム。

※2：横須賀バイオマス発電所

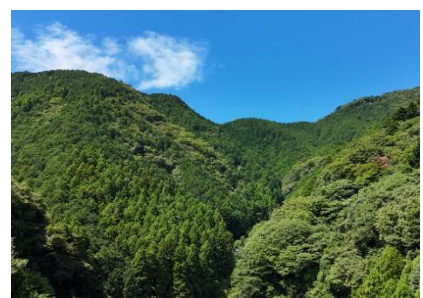
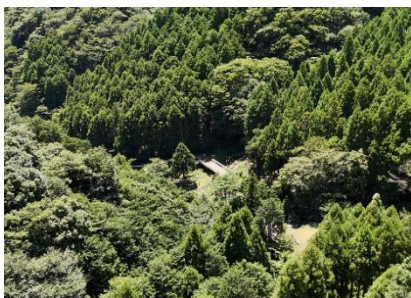
TRE ホールディングス傘下の株式会社タケエイグリーンリサイクル所有。森林間伐材や剪定枝などを燃料とした木質バイオマス発電所。



所在地	神奈川県横須賀市浦郷町 5-2931-15
発電出力	6,950kW
運転日数	330 日/年
年間送電量	約 5 万 MWh/年

「SMBCの森」について

2024 年 5 月に取得した神奈川県伊勢原市日向地区の森林（約 220ha）です。この森林の保全や再生を通じ、社会課題である地球温暖化防止や生物多様性の維持等に取り組んでいます。具体的には、①植生調査を基にした生物多様性の維持、②森林由来のクレジットの創出、③環境教育サイトの設置と環境プログラムの実施、④バイオマス発電や間伐材等を活用した森林業の活性化、等に取り組んでいます。



[2024 年 4 月 1 日プレスリリース：伊勢原市日向地区の森林取得とその活用について](#)

以 上